

くびき野 NPO サポートセンター 令和 2 年度事業報告

事業実施の方針

- (1) フードバンクや子どもケア団体支援など社会的なニーズが高まっている事業を新規に立ち上げ、地域における仕組みづくりや活動環境整備を行う。
- (2) 引き続き事業の合理化や人材のスキル向上等、組織の基盤強化を図る。

重点項目として、

- ①にいがた NPO 基金
- ②NPOPRESS 製作
- ③新規事業

事業区分

市民の NPO への関心を高める事業	①NPO PRESS 制作
	②上越市市民活動支援
	③子どもケア団体支援のプラットフォームづくり
市民の NPO への支援を高める事業	①にいがた NPO 基金
	②災害支援
	③フードバンクじょうえつ
地域に自主・自立した NPO を増やす事業	①NPO 法人設立・運営相談
	②講師派遣
	③協働環境整備
	④印刷機設置
	⑤NPO インキュベーション施設提供
センター運営に関する事業	①会員拡大
	②総会
	③理事会
その他	①他団体との連携等

市民のNPOへの関心を高める事業

①NPO PRESS 制作（上越タイムス社との協働事業 継続事業 21年目 達成レベル△）

目標

活動や背景となる社会的課題に対して多くの市民から関心を持ってもらえるように、団体の当事者自身による発信を掲載できるコラム等を拡充していく。またNPO・市民活動の発信を継続していけるように、より一層、企業等から支援広告を拡充していく。

★数値目標 広告訪問件数 400件、年間広告 170万円

報告

新型コロナウイルス感染拡大が広がる中、実際のNPOへの影響や活動を通じて感じていることなどについて、年間を通して取材記事や団体による寄稿で発信した。

営業では、コロナ禍の影響もあり、協賛が大きく減少した。

★数値実績：営業（アプローチ）件数 43件、年間広告料収入 709,800円

NPO PRESS 掲載記事一覧

（令和2年4月～令和3年3月）

月日	TOP	市民活動図鑑、トピックス ほか	連載	
4	6	街なかに新しい拠点 駅北広場「キターレ」オープン（糸魚川市）	・新潟県のNPO相談業務見直し・甘味処「あわゆき亭」 ・大湯水と森公園サポーター募集	しっぽのなかま上越、のうごち
	20	NPO法人向け新型コロナウイルス 感染拡大の影響による運営支援情報	・想いきらり「ゆめきやんばす／児玉久美子代表理事」 ・複合型室内パークリニューアル作業 （上越アクティブスポーツ協会）	KDL
	27	にいがたNPO基金第8回助成プログラム 県内5団体へ助成決定	・にいがたNPO基金助成団体紹介「溪流再生フォーラム」 ・城下町高田の雁木と町家をまとめた冊子「雁木散策」発行 （越後高田雁木ねっとわーく）	おりづる
5	4	困窮世帯に食糧配布へ県内フードバンクが 連携（こども未来応援プロジェクト）	・にいがたNPO基金助成団体紹介 「すまいる桜援団」「教員サポートsmileういんず」	しっぽのなかま上越、のうごち
	18	新型コロナによる困窮者支援 セブンイレブンジャパン自社商品寄贈	・想いきらり「あいあう食堂／越山悠人さん」 ・にいがたNPO基金助成団体紹介 「えちご邸園王国」「村上ohanaネット」	KDL
	25	新型コロナウイルス感染症 県内NPOのアンケート調査報告	・「にいがたNPOたがいにサロン」開設（新潟NPO協会）	おりづる
6	1	NPO等も再開の動き「カフェ・ア・ポアン」 「古民家カフェ平左衛門」「高田世界館」	・大規模室内パーク目指しクラウドファンディングで支援 呼びかけ（上越アクティブスポーツ協会） ・想いきらり「上越アクティブスポーツ協会／小竹潤代表」	
	8	NPO等も再開の動き「警女ミュージアム高田」 「正善寺工房」「総合型地域スポーツクラブ」	・上映再開、未来鑑賞券も販売中（街なか映画館再生委員会） ・「さんびズ」受講生募集	KDL
	22	令和2年度通常総会報告 （くびき野NPOサポートセンター）		ゆとり館、ひとサポ
	29	新潟ろうきん福祉財団助成先決定	・「いちよう食堂」と「フードバンクじょうえつ」へ募金寄付 （上越信用金庫） ・金谷山のホテル見ごろ（上越ホテルの会）	のうごち、おりづる、 しっぽのなかま上越
7	6	複合型室内パークプレオープン （上越アクティブスポーツ協会）	・子育てワークショップ参加者募集（マミーズ・ネット） ・「フードバンクじょうえつ」へ食品寄贈 （上越市内ライオンズクラブ） ・ひとり親世帯にエアコン無償設置 （新潟県フードバンク連絡協議会）	KDL
	20	150名で海岸清掃（上越プラネット）	・コロナ対策支援助成金紹介	ゆとり館、ひとサポ
	27	ひとり親への食料支援 （新潟家フードバンク連絡協議会）	・コロナ下での豪雨災害支援情報	おりづる

8	3	3年間の活動振り返る活動報告会 (妙高市地域のこし協力隊員・諸岡さん)	・オンライン参加者募集中 「もの語り発表会」「地域づくりコーディネーター講座」 ・らんたんよいち(高田世界館) ・新型コロナ対応の緊急助成(休眠預金活用)	
	10	コロナ禍での助け合い(食の工房ネットワーク、上越市社会福祉協議会)	・戦争映画の監督リモートで呼びかけ(高田世界館) ・映画「誓女GOZE」公開、関連イベント紹介	KDL
	24	無料で消毒用アルコール貸し出し (上越市NPOボランティアセンター)	・市民活動図鑑 「高志の福祉村」明るく豊かに暮らすネットワーク	ひとサボ、ゆとり館
	31	命を奪わずに野良猫を減らす、 一斉TNR実施 (しっぽのなかま上越)	・オンラインセミナー紹介「にいがたNPOカレッジ」「NPOと行政の対話を促進するための連続講座」	おりづる、しっぽのなかま上越
9	7	子育て世帯に食材を届ける フードシェアリング (あいあう食堂)		のうごち、KDL
	21	アライグマシンポジウムオンライン開催 (新潟ワイルドライフリサーチ)	・海岸清掃参加者募集(上越ブラネット)	ゆとり館、ひとサボ
	28	ろうきん森の学校「つながる」場づくり (かみえちご山里ファン倶楽部)	・高校生が地域で清掃活動(上越高校サッカー部)	しっぽのなかま上越、おりづる
10	5	子どもの未来応援プロジェクト、ひとり親世帯への支援継続(新潟家フードバンク連絡協議会)	・障害者働く場づくり新拠点整備(土の香工房) ・フードバンク上越へ非常食提供(みんなでききる) ・休眠預金新型コロナウイルス対応緊急支援助成受付中	KDL
	19	JAえちご上越新入社員作ったお米寄贈 (フードバンクじょうえつ)	・子育て中の過程とつながりを(マミーズ・ネット) ・子ども食堂とケア団体のネットワーク設立に向け交流会開催 (くびき野NPOサポートセンター)	ゆとり館
	26	休眠預金2020年度の資金分配団体決まる		のうごち、ひとサボ、おりづる
11	2	妙高青年会議所創立45周年	・連載「校長先生と描く教育の未来」(新井中学校)	しっぽのなかま上越
	16	上越市表彰に市民活動から2団体 「そらとぶじゅうたん」「木と遊ぶ研究所」	・第四北越銀行賞受賞(くびき野NPOサポートセンター) ・連載「校長先生と描く教育の未来」(妙高高原中学校)	KDL、ひとサボ
	23	ひとり親家庭へ クリスマスケーキプレゼント (子どもの未来応援プロジェクト)	・連載「校長先生と描く教育の未来」(板倉中学校)	ゆとり館、しっぽのなかま上越
	30	アールブリュット展開催(みんなでききる)	・連載「校長先生と描く教育の未来」(中郷中学校)	のうごち、おりづる
12	7	新千支の制作が佳境(平丸スゲ細工保存会)	・秋のお屋敷堪能(名家一斉公開) ・連載「校長先生と描く教育の未来」(妙高中学校)	KDL
	21	若竹みらい創造基金設置(みんなでききる)	・NPO PRESS2020年振り返りダイジェスト ・企業の社会貢献「明治ホールディングス」お菓子寄贈	しっぽのなかま上越、ゆとり館
1	11	アール・ブリュット展グッズ収益をフードバンクに寄付(高田ロータリークラブ)	・にいがた旬塾「コロナ禍時代の市民活動とこれから」参加者募集	のうごち、ひとサボ、おりづる
	18	一斉屋根雪下ろしボランティア募集 (上越市災害ボランティア連携推進会議)	・大雪によるNPO等への影響	ひとサボ
	25	屋根雪下ろしボランティア実施	・第2回フードパントリー30日に開催 ・市民活動図鑑「青海子ども食堂～そよかぜ～」	KDL
2	1	フードパントリーでひとり親世帯を応援 (フードバンクじょうえつ、あいあう食堂)	・災害支援コーディネーター養成研修開催	おりづる、のうごち
	8	第9回にいがたNPO基金助成募集開始	・フードバンクを通じて食事支援「JA共済連新潟」 ・休眠預金実行団体の公募始まる	
	22	フードバンクがボランティア募集		おりづる、KDL、ひとサボ
3	1	新潟ろうきん福祉財団NPO等助成事業募集開始	・企業の社会貢献 フードバンクじょうえつへ寄贈 「日信工業労働組合」「上越市内ライオンズクラブ」 ・災害支援コーディネーター養成研修(上級編)開催	
	8	東日本大震災から10年 地元で被災に想いを馳せる(高田世界館)	・途切れないお米支援を「JAえちご上越女性部」 ・糸魚川でフードパントリー初開催 ・SDGsセミナーなど動画配信参加者募集 (新潟県農産物交流センター上越支部)	しっぽのなかま上越
	22	第3回フードパントリー開催(上越、妙高)	・SDGsセミナーなど動画配信中 (新潟県農産物交流センター上越支部)	ひとサボ、KDL
	29	寄稿「春～2021年度スタートに向けて」 しごとのみらい理事長・竹内義晴	・春日山クリーンウォーク参加者募集(上越青年会議所) ・世界館で震災関連イベント開始	のうごち、おりづる

②上越市市民活動支援（上越市受託事業 継続事業 19年目 達成レベル○）

目標

ボランティア相談及びコーディネート、ボランティアニーズ調査を実施。その他、NPO・ボランティアセンター団体登録に付随する管理を行う。社会活動参加促進のためのサイト「hand shake」等も活用し、ボランティア活動に関する最新情報を提供する。

★数値目標：ボランティアコーディネート 400件

報告

窓口担当スタッフを配置し、コーディネート業務を実施。

★数値実績：ボランティアコーディネート 365件
hand shake 訪問者 25,412人

③子どもケア団体支援のプラットフォームづくり（新規事業 達成レベル○）

目標

「ケアが必要な子どもたちが適切なサポートを受けられることができる環境が整備されている地域」を目指し、ケア団体のネットワーク強化、支援のプラットフォームづくり、広報活動などに取り組む。

★数値目標：ケア団体学習会の開催

報告

くびき野地域で活動する子どもたちの食や生活をサポートする団体（子ども食堂、学習支援、居場所運営、DV・いじめなどの予防や相談支援、ひとり親世帯への支援など）のネットワークを設立し、子どもたちが適切な支援を受けられることができる環境づくりを行う。

令和2年度は、ネットワーク設立に向けて団体や関係機関等との調整、団体交流会の開催、リーフレット制作などに取り組んだ。

・団体や関係機関等への訪問及び調整：17件

・「第1回団体交流会」

日時／10月10日

会場／上越市福祉交流プラザ

参加者／12団体 16名



市民の NPO への支援を高める事業

①にいがた NPO 基金（継続事業 9 年目 達成レベル△）

目標

県内企業や市民にむけ寄付募集のアプローチ（企業訪問、募金、NPO への PR 等）を積極的に行う。合わせて、新潟ろうきん NPO 寄付システム、ひとくちの寄付キャンペーンを通じた寄付募集も継続していく。助成事業については、5 年間の助成金活用状況や成果について評価を行い、報告書を製作する。

報告

「新潟ろうきん NPO 寄付システム」を中心に寄付募集を行い、今年度は県内で活動する NPO 等へ総額 728,000 円を助成することができた。感染症拡大の影響により、イベント等の実施見通しが立ちにくいことから、申請数が減少した前年度と同様の申請数だった。そういった中でも、地域社会に必要な活動に新しい視点や活気を取り入れる工夫を考えられている団体を選考した。

●ファンドレイジング（寄付募集）事業

- ・「第 5 回ひとくちの寄付」キャンペーン
エントリー団体数：17 団体（継続）
- ・「新潟ろうきん NPO 寄付システム」登録者数：398 件
- ・企業訪問・相談など：3 件

●助成事業

- ・「第 9 回（2021 年）助成プログラム」
募集期間／2 月 10 日～3 月 12 日 選考会／3 月 26 日 助成総額／728,000 円（7 団体）
【A コース】（上限 5 万円）NPO 法人日本車椅子レクダンス協会上越支部（上越市）：48,000 円
【B コース】（上限 30 万円）※いずれも受付順
NPO 法人みらいびらき L a b o（新潟市）：180,000 円、NPO 法人桂公園こどもランド（十日町市）：150,000 円、愛宕山ゆきつばき保存会（小千谷市）：100,000 円、NPO 法人学びスペースあうるの森（長岡市）：100,000 円、NPO 法人頸城野ドキュメントライブラリー（上越市）：100,000 円、中郷区さとまる学校（上越市）：応援助成 50,000 円
- ・「ながおか子ども活動助成事業」
助成総額／1,125,000 円（5 団体） 運営協力／NPO 法人市民協働ネットワーク長岡
産後ケアハウスねんねこ：300,000 円、フードバンクながおか：300,000 円、NPO 法人春よこい：300,000 円、長岡子ども食堂ネットワーク：200,000 円、シトラスリボンプロジェクト from ニイガタ：25,000 円

にいがた NPO 基金 令和 2 年度決算書

2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

収入の部		支出の部	
項目	決算	項目	決算
使途指定寄付金（長岡地域子ども支援）	1,500,000	助成金支出（長岡地域子ども支援）	1,125,000
おまかせ型寄付金	942,943	第 9 回助成（未払い金として計上）	728,000
受取利息	7	旅費交通費（運営委員、事務局）	49,420
前期繰越金	229,888	通信費	93,668
		業務委託費（市民協働ネットワーク長岡）	300,000
		企画運営費	216,382
		雑費、租税費	6,820
当期収入合計	2,672,838	当期支出合計	2,519,290
		次期繰越	153,548
収入合計	2,672,838	支出合計	2,672,838

②災害支援（継続事業 10年目 達成レベル○）

目標

上越市で災害が発生した際、災害ボランティア活動における関係団体間の連携体制を構築することを目的とした「上越市災害ボランティア連携推進会議」について、引き続き取り組む。

報告

- 「浪江のころ通信」への協力
東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会が、福島県浪江町の避難者支援として実施している「浪江のころ通信」において、新潟県内の取材窓口を担当。
- 上越市災害ボランティア連携推進会議
上越市社会福祉協議会と上越青年会議所による3者で継続的に開催。令和3年豪雪では、高田地区の「一斉雪下ろし」に合せ、空き家等への雪下ろしボランティアの運営を同枠組みにより実施。各町内会長の依頼により、2日間で30軒以上の空き家等へ雪下ろしボランティアを派遣。
- 新潟県災害ボランティア調整会議
新潟県内21団体で組織する会議。「災害支援コーディネーター養成研修」を企画する運営委員を派遣。



③フードバンクじょうえつ（新規事業 達成レベル◎）

目標

食べられるにもかかわらず廃棄されている食品を生活困窮者等に配る「フードバンク」の活動をくびき野地域で取り組む。上越で生活困窮者支援や子どもの貧困対策に取り組む団体と連携し、地域における相互扶助の仕組みづくりを行う。また「フードバンクにいがた」等県内のフードバンクと連携し、新型コロナウイルスの影響を受ける世帯を支援する「子どもの未来応援プロジェクト」を展開する。

★数値目標（延べ）：食品提供30団体

報告

4月から「フードバンクじょうえつ」として活動開始。当初は、生活困窮に対応する行政窓口（福祉課、地域包括等）や社会福祉協議会とも連携し、食品寄付の受け付けや各機関への食品提供を実施してきた。一方で、新潟県フードバンク連絡協議会の設立に参画。「子どもの未来応援プロジェクト」や「あしながサンタXmasケーキ1000プロジェクト」に協力してきた。12月からは、同協議会よりくびき野地域のひとり親世帯への支援を引き継ぎ、妙高市の「あいあう食堂」と連携しながら上越・妙高で食品を配るフードパントリーを実施。3月には糸魚川のこども食堂3団体と連携し、フードパントリーを実施した。

★数値実績（延べ）：食品提供41機関・団体、フードパントリー参加401世帯

【フードパントリーin上越地域】

- 第1回上越12月26日@上越市市民プラザ 参加者数/84世帯、ボランティア数/7名
 - 第2回上越1月30日@上越市市民プラザ 参加者数/74世帯、ボランティア数/6名
 - 妙高会場1月30日@妙高市いきいきプラザ（あいあう食堂） 参加者数/約35世帯
 - 第1回糸魚川3月7日/@糸魚川市ビーチホールまがたま
参加者数/82世帯、ボランティア数/15名
 - 第3回上越3月13日@上越市市民プラザ
参加者数/86世帯、ボランティア数/23名
 - 妙高会場3月12～13日@妙高市いきいきプラザ（あいあう食堂）
参加者数/約40世帯
- （助成）赤い羽根共同募金
（後援）niks 協同組合新潟県異業種交流センター



地域に自主自立した NPO を増やす事業

①NPO 設立、運営相談（継続事業 22 年目 達成レベル○）

目
標

多様な内容の相談が増加しているため、幅広いニーズに対応できる人材を育成する。また「上越市ソーシャルビジネス支援ネットワーク」等、各方面の専門家との連携を深めることで、対応力を向上させる。

報
告

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、団体運営をはじめ助成金・給付金等の申請に関する相談等に対応。コロナ禍で思うように活動ができない団体、新たに活動を始める団体、様々な相談に対応した。
数値実績：相談件数 44 団体 延べ 58 件

②講師派遣

●講師派遣

日付	主催・依頼元	内容	担当
12月22日	新潟県災害ボランティア調整会議	災害支援コーディネーター養成講座 初級編	新保
1月26日	新潟県災害ボランティア調整会議	災害支援コーディネーター養成講座 中級編	近藤
1月27日	新潟県災害ボランティア調整会議	災害支援コーディネーター養成講座 中級編	新保
2月15日	浄土真宗本願寺派	フードバンクじょうえつの活動について	近藤

③協働環境整備（継続事業 14 年目 達成レベル○）

目
標

地域の市民活動の推進に必要な取り組みについて、行政と協力しながら検討し、来年度以降の事業として提案していく。

報
告

協同組合新潟県異業種交流センター上越支部が実施した「持続可能な開発目標（以下SDGs）」を動画やウェビナーで学ぶ「地域でつながるSDGsとビジネス」について、上越青年会議所とともに企画に協力。

④印刷機設置（上越市との協働事業 継続事業 10 年目 達成レベル△）

目
標

上越市 NPO・ボランティアセンターに市民活動団体が利用できるカラーコピー機を引き続き設置する。
★数値目標：単色印刷 500,000 枚の利用
カラー印刷 50,000 枚の利用

報
告

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、NPO がイベントや会議を実施できない状況が続いたことで、印刷の需要が大きく減少した。
★数値実績：単色印刷 242,495 枚の利用
カラー印刷 10,395 枚の利用

⑤NPO インキュベーション施設提供（継続事業 19年目 達成レベル×）

目標

事務所の活用に向け、施設面の整備に加え、窓口代行や他団体の事務局委託等ソフト面の整備を提供していく。

報告

現在、1団体が入居しているが、他団体にも入居をすすめていく。

くびき野 NPO サポートセンターの運営に関する事業

①会員拡大

- ★数値目標：個人会員 80、団体会員 60、企業会員 80
- ★数値実績：個人会員 64、団体会員 49、企業会員 71

②総会

6月18日に上越市市民プラザにて開催

③理事会

年2回開催

他団体主催の事業、会議への参加ほか

委員等の派遣

民間	NPO 法人マミーズ・ネット じょうえつ子育て info 評議会 委員
	上越市市民プラザ全体運営委員会 委員
	社会福祉法人上越市社会福祉協議会 理事
	新潟県共同募金会上越支会 委員
上越市	上越市新年祝賀会実行委員会 委員
	上越市表彰審査会 委員
県内	一般財団法人新潟ろうきん福祉財団 理事、NPO 等助成事業選考委員会 委員
	特定非営利活動法人NPOさんじょう 理事
	新潟県災害ボランティア調整会議財源検討部会 座長
全国	特定非営利活動法人日本NPOセンター 副代表理事

受賞

市民活動支援、県内唯一の市民ファンド運営、災害時のボランティア活動支援、フードバンク活動など、様々な地域社会の課題解決への取組みが評価され、第44回第四北越銀行賞を受賞しました。



事務局体制

氏名	役職・担当
近藤 尚仁	事務局長
新保 絵梨	主任
吉田 美鶴	上越市NPO・ボランティアセンター
大島 良子	非常勤 上越市NPO・ボランティアセンター NPOプレス
鈴木 弘子	非常勤 経理